

## 防災教育～水害から身を守るには～



(ア)5  
那須中央中学校  
6/29



黒田原小学校

NAISUタイムの一環として「防災教育」が、各小中学校で実施されています。

黒田原小学校では、6年生が大雨災害に備えて自分や家族ができるることは何かを考えました。緊急避難指示が出た時の避難場所の確認、移動方法、服装などについて、参観した保護者も一緒に真剣に話し合いました。「自宅に一番近い避難場所は那須中央中だが、川を避けるためゆめプラザに避難する」「見つけやすいように目立つ色の服を着る」といった意見が出され、いざという時の行動を確認しました。

那須中央中学校では、全校生徒が参加し、映像や土砂災害の模型、ライフジャケット体験をとおして水害について学びました。講師を務めた県大田原土木事務所の職員は「集中豪雨になると川はすぐ激流に変わり、水が一気に押し寄せてくる。災害時には命を守る行動を取ってください」と水害の怖さを生徒たちに伝えました。

1年2組の平山拳太郎さんは、「映像や模型で、大雨が降った時の川の危険性や雨の災害がどういうものなののかよく分かった」と振り返りました。

(ア)4  
特別会議室  
教育旅行で町にホームステイをした  
テネシ州立大学の学生らが町で体  
験したこと、楽しかったこと、驚い  
たことなどを話してくれました



## 小学生の職場体験！職場見学！

東陽小学校では、3年前から6年生の職場体験と5年生の職場見学をあわせて実施しています。

6月27日、6年生29人が道の駅東山道伊王野や郵便局、農園などの10事業所に分かれて、1日職場体験を行い、5年生が事業所を訪問し、その仕事の様子を見学しました。

5年生の薄井優心さんは「6年生はみんな頑張っていて、仕事場にあった雰囲気、態度で真剣に仕事をしていました。来年は私たちも真剣に取り組みたいです」と来年の職場体験を楽しみにしていました。



▲働いている方に仕事で大変なことや工夫していること、どんな気持ちで仕事をしているかなどを質問しました



(ア)18  
町長室  
那須地方夏秋どりいちご生産協議会  
からなつおとめ2箱をいただきまし  
た。ありがとうございます。

## 那須おんせん朝市

8月～9月

## イベント情報

花火大会	内 容	場 所	期 日
午後7時30分頃	日本三所聖天の一つ。 露店が出てにぎわいます。	芦野仲町通り	8月19日㈪

## 伊王野盆踊り大会

なすっこ祭り  
か、イベント盛りだくさん。

▼場所 「バス停那須湯本」から下へ100m  
▼問合せ 那須おんせん朝市実行委員会（人見）  
☎ 090-1456-5271

浴衣でお越しの方には、お米2合をプレゼント（先着50名）。買物した方には、素敵なプレゼント（数量限定）があります。

## 那須おんせん朝市

8月～9月

## リコーダーの優しい音色

7月6日、文化センター小ホールで那須シニアカレッジリコーダー講座10周年記念コンサートが開かれ、メドレー曲、アンサンブル、リクエストを含めて10曲を演奏。観客は、リコーダーの優しい音色に聞き入りました。



▲最後の曲、故郷をリコーダーの演奏にあわせて叙情歌講座の方々と観客がみんなで歌いました

在宅医療・介護連携推進会議主催の  
住民向け講演会「あなたらしい人生の終(しま)い方~理想と現実と~」  
の最期(6/30)を考えるきっかけになりま  
した(7/18)ゆめプラザ・那須



ロイヤルリゾート那須マスタークラブ  
主催の那須の自然・歴史・観光講座  
(4回目)が開かれ、町内外から21人  
が参加。山田資料館や渡邊葡萄園醸  
造、大山別邸などを訪れ、日本遺産に  
認定された「那須野が原開拓」を学び  
ました(7/18)山田資料館)



## 食生活を振り返ってみよう!

7月8日、那須高等学校で、町食生活改善推進員主催の「高校生のための食育授業」が行われ、2年生26人が参加しました。高校生になると遠距離通学やお弁当による昼食など生活環境の変化に伴い、食生活も大きく変化します。近年、朝食を食べてこなつたり菓子パンだけで済ませる高校生が多いことから、4人の推進員が、講話の中で「1食に主食1皿、主菜1皿、副菜2皿が基本の食事」と説明し、食を通して健康づくりについて伝えました。その後、生徒たちはレタスチャーハンと豆腐サラダ作りに挑戦。推進員に作る手順や材料の切り方などを教わりながら慣れない手つきで調理し味わいました。食育授業に参加した平山遥希さんは「朝食は少しずつ食べてくるようにしたい。食事作りを家でもチャレンジしてみたい」と話しました。



伊王野保育園の年長児14人が座禅を体验。姿勢、呼吸、心を静かに整えて、集中力を磨きました  
(7/5 最勝院)



## 世界の子どもの絵画展

世界の子どもたちが描いた絵画約50点を展示します。

▼場所 那須高原ビジャーセンター  
▼期間 8月17日(土)～25日(日)

▼場所 問合せ 世界の子どもの絵画展  
事務局(さわだ)

☎ 070-2209-2333

## 大沢の獅子舞

▼日時 9月1日(日)午後2時～  
(雨天中止、参拝のみ)  
▼場所 御富士山山頂、鎮守様

## 一ツ樅の獅子舞

▼日時 9月1日(日)午前11時～午後5時  
(雨天決行・悪天中止あり)

▼場所 余笠川ふれあい公園

今年もやります!  
那須・地ビール祭り2019



日本各地の有名地ビール醸造会社が那須に集まります。子どもや大人も楽しめるお祭りです。

▼日時 9月7日(土)正午～午後9時  
※雨天決行・悪天中止あり。  
▼場所 余笠川ふれあい公園

▼問合せ 那須・地ビール祭り事務局  
☎ 029-8958

町教育委員会では、児童生徒の「生きる力」を養うため、学校や家庭、地域とともにさまざまな取り組みを行っています「夢ある子どもを育む那須の教育」について12回シリーズでお伝えします。

# 夢・感動通信

## 地域学校協働活動で地域の課題にアプローチ

No.8



先日号では、地域の皆さんと学校とともに汗を流して活動し、地域を元気にしていく「地域・学校協働活動」についてお伝えしました。こうした活動により地域と学校の信頼関係が築かれ、パートナーとなつて「地域づくり」「学校づくり」を進めることができます。「」の様な協働活動でさまざまな地域課題に働きかける事例も見られます。



## 炊出し体験（東陽小学校）

がつています。地域の皆さんのがんばりで、専門性を生かして、子どもたちの豊かな体験の場を作るとともに、安心して過ごせる居場所をつくる」とつなげています。



平ちゃん先生の自然教室（田代友愛小学校）



## 水曜講座（那須中学校）

今の季節のおススメは  
とちおとめのイチゴジャー  
ラート☆



黒板はお絵かき自由。外には  
プランコとハンモックがあり、  
大人も子どもも楽しめます

長堀さんが一目ぼれしたオシャレな外観。2階の窓際の席は風も入り、特等席です。

「ジェラートが大好きで、那須に来たら必ず食べていました」と話すのは、ジェラートのお店「まじょの森」のオーナー、長堀恵美子さん。東京で仕事をする傍ら、震災後の福島県や宮城県、岩手県の保育園で、読み聞かせボランティアをしていたときに、よく那須に遊びに来ていたそうです。そして、現在のお店の建物に一日ぼれし、アツトホームな内装に変え、昨年7月に大好きなジェラートのお店を始めました。

「おもから「食事も出して欲しい」との声があり、キユツシコやオムライス、グラタンなどもメニューに加えました。

「観光客はもがんと、地元の方もリピーターとして来いらっしゃるのがとても嬉しいです。お惣菜も本縄を無くされ、あいづつの心地でできるだけ試行錯誤しながらいい感じをきたふと感つておもす」長嶋さんは、あたたかな想いがつまつた空間で食べるシェフ一人の姿たさが、夏を心地よくして下れおも。

まじよの森

0287-73-8482  
木曜定休、月1・2回連休

那須のいろんなおいしいものを、作る人の思いも一緒にご紹介

ほっと  
ひと息

## ゆつくりの伸びりできる空間



オーナーの長堀恵美子さん。ジェラートは常時10種類。味は季節で変わります

# みんなの広場

表紙シリーズ「はぐくむ喜び」では、町を支える農業の魅力をご紹介します。



イチゴ農家  
畠山 奈々子さん(千振)



畠山奈々子さんは、大学生のとき、「夏のイチゴは珍しい」と大学の教授から聞き、夏秋いちごの栽培を始めました。4年前に、農家で果物や野菜を栽培している両親から「夏秋いちごなつおとめ」の栽培を引き継ぎ、就農しました。初めの年は、苗づくりに苦戦。2年目は、経費削減のためミツバチの数を減らしたら受粉に失敗。3年目は酷暑。今年は日照不足と、毎年さまざまな問題に奮闘しているそうです。

「問題が発生するたび大変ですが、毎年新たな発見があるのでイチゴ栽培は楽しいです」。なつおとめの特長は、酸味がさわやかでアイスやケーキのクリームとの相性が良いこと。イチゴ栽培と発見を楽しむ畠山さんとの相性も抜群です。

## 短歌

## 遊行柳投句箱

合歓の木に木通の弦の絡まりて  
花か実か鎌持ちて思案す  
息せずに生まれし仔牛に涙して  
無言で朝の乳を搾りぬ

蛙鳴く遊行柳の幹回り  
梅雨晴間遊行柳と白い雲

大田原市  
加須市

中島 君江	塩島 恵子	井上 昌子	大越 秀子	平岡 丈子	郷 華	大島 昇	白田 静江	小森 静江	仲川 光風	七海 英音	角田 富美子	長島 啓子	齊藤 照代	津田 イツ子	鮎瀬 汀	松浦 秀文	中島 慶子	山口 生石
----------	----------	----------	----------	----------	--------	---------	----------	----------	----------	----------	-----------	----------	----------	-----------	---------	----------	----------	----------

## 俳句

## 那須文芸

甘かりしアイスキャンデーあの戦後  
海の日の波の静かや誕生日  
峰雲や佐渡の入江の盥船  
肺病みし兄の青春青胡桃  
風入れて足音まつや夏座敷  
実梅落つびくりと動く猫の耳  
青胡桃少年の日の足の傷  
夏つばき二階の窓の開かぬ家  
夏座敷廊下に覗く庭の池  
野良仕事日差し燐々梅雨晴間  
海の日や海なし県に今は住み  
夏座敷ねる児の頬を撫てる風  
梅雨晴間カラスが狙ふ犬の餌  
晩節を汚すことなく沙羅の花  
嵐去り子等の木登り青胡桃  
嵐去り子等の木登り青胡桃  
村と村つなぐ野の川姫女苑

## 「広報那須」に広告を掲載しませんか

### ■広告の大きさと掲載料

1号広告 縦5cm 横17cm 20,000円  
2号広告 縦5cm 横8cm 10,000円

### ■掲載方法

掲載希望発行日の2カ月前までに申込みをし、版下原稿を作成・提出してください。

■申込み・問合せ 総務課秘書広報係  
☎72-6901

## 那須文芸への出句について

出句は楷書でお願いします。判別できない場合は掲載になりませんのでご注意ください。

また、電話番号の記入をお願いします。

■締切り 8月19日(月)

■俳句の送付先

〒329-3222 那須町大字寺子丙3-166  
田中 義郎 ☎72-5044

■短歌の送付先

〒329-3292 那須町大字寺子丙3-13  
総務課秘書広報係 ☎72-6901



# 令和元年8月・9月のカレンダー

8月10日～9月9日

8月	
10	（土）
11	（日） 那須おんせん朝市(湯本) 休日当番医診療 なすのクリニック (☎60-5211) 休館 (ゆめプラザ・那須)
12	（月） 休日当番医診療 中川医院 (☎62-0040) 休館 (ゆめプラザ・那須)
13	（火） 休館 (図書館、スポセン、文セン、探訪館、野外、ゆめプラザ・那須)
14	（水） 休館 (りぼーる)
15	（木） なすっこ祭り(黒田原小) 伊王野盆踊り大会(道の駅東山道伊王野)
16	（金）
17	（土） 恐竜くんトークショー(文化センター) 世界の子どもの絵画展 (那須高原ビジターセンター 25日まで) 子育て相談 (子育て支援センター 午前9時30分～午後4時)
18	（日） 那須おんせん朝市(湯本) 毎月第3日曜日は家庭の日です。 ～家庭のきずなを深める日としましよう～那須町教育委員会 休日当番医診療 見川医院 (☎76-2204)
19	（月） 芦野聖天花火大会 休館 (図書館、スポセン、文セン、探訪館、野外)
20	（火） 休館 (ゆめプラザ・那須)
21	（水） 心配ごと相談 (ゆめプラザ・那須 午前10時～午後3時) 休館 (りぼーる)
22	（木）
23	（金） 交通事故巡回相談 (那須塩原市役所 午前10時～、午後1時～) 不動産相談 (不動産会館県北支部 午後1時30分～3時30分)
24	（土）

※休館案内 表示と問合せは以下のとおりです。

図書館：那須町立図書館 (☎72-5840) 、スポセン：那須町スポーツセンター (☎72-5959) 、文セン：那須町文化センター (☎72-6565) 、探訪館：那須歴史探訪館 (☎74-7007) 、ドーム：那須スイミングドーム (☎72-6788) 、野外：那須町野外研修センター (☎74-3711) ゆめプラザ・那須：那須町こども未来課 (☎72-6959) 、りぼーる：りぼーるたなか (☎73-5347) です。

※検診等は保健センターだよりをご覧ください。※内容等は変更になる場合もあります。

## 8月の納税

## 納期限

## 9月2日(月)

- ・町県民税2期
- ・国民健康保険税2期
- ・介護保険料2期
- ・後期高齢者医療保険料2期

納め忘れの町税はありませんか？  
今一度ご確認ください。

- 納税は便利な口座振替で！ ○コンビニでも納められます。
  - クレジットカード納付や、ヤフー公式アプリでの納付もできます。
- (クレジットカードの納付は町県民税、固定資産税、軽自動車税、  
国民健康保険税のみ納期限内に限ります。詳しくは税務課まで☎72-6904)  
※毎週金曜日は、午後7時15分まで税務課窓口で町税の納付ができます。



広報那須9月号 9月5日(木)発行

# 「殺生石」物語考

物語の概略(19)

那須野に隠れ潜んだ金毛丸尾白面の狐は、遠近の民家や往来の旅人を襲い、人々は老若男女の区別無く喰われ、或いは喰われずに隠され、行方知れずになつた。宗重の家来や婦女子さえ失せる者があり、那須宗重は、那須家の面目にかけて、再び大規模な狩りを催した。が、山奥の大穴に、夥しい人骨と、かみ殺されたまま山積みにされた死体を、むなしく、発見するのみであつた。

宗重は、事の重大さに、自ら上京しようと決心する。が、その上京を阻止するかのように、那須家に不思議が起つた。宗重の妻が突然一人となり、夫の宗重にも、どちらがどちらか、その虚実を見分けることはできぬ。しかし、宗重は庶民の歎きを優先し、あえて、京都へ向かう。

関白忠実公の朝議において、安倍泰親は、朝廷に伝來する宝鏡のみが、宗重夫人の真偽を明

らかにするものだと進言し、宗重にそれが貸し与えられる。

宗重一行が宝鏡を護りながら、勢多の橋を渡り終えた時である。後方から、騎馬の一団が追いかけて来た。先頭には安倍泰親がいる。泰親は、那須宗重に、朝廷の事情が変わつて宝鏡をいつたん都に持ち帰ると説明した。

しかし、この言を怪しんだ宗重は、離京の際泰親がくれた山鳥の尾の護符を取りだし、それを輪にして彼らの姿を見た。すると、輪の中の泰親や従者たちの顔は皆狐顔である。宗重は、即座に、剣を泰親に浴びせた。すると、化生の泰親は、その切つ先をかわし、一団は何処へともなく消え去つた。

この事件を京都へ注進するとともに、宗重は急ぎ、那須の地に帰郷した。館ではすでに、虚の妻は消え失せており、実の妻のみが彼を出迎える。

筆者 前那須歴史探訪館 館長  
齊藤 宏壽 先生(湯本在住)

今月のひとこと

天球儀を皆で囲みし理科室は  
どの辺りだろう廃校跡地

## こんなにちは 赤ちゃん



齋藤  
いちか  
一華  
(小深堀)

平成30年  
11月28日生

父 憲章さん 母 美香さん

一華ちゃんは…

おじいちゃんのことが  
大好き!いつもありがとう♡

「こんなにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。  
詳しくは総務課秘書広報係(☎72-6901)まで。

## 町の世帯と人口

(7月1日現在・住民基本台帳)  
( )の数字は前月比

・世帯数 10,338世帯 (-17)  
・人口 25,149人 (-16)  
男 12,494人 (+7) 女 12,655人 (-23)

## あなたの「声」をきかせてください

地域の身近な情報や、広報「那須」の感想・ご意見をお待ちしています。  
お名前と連絡先とともに下記までお寄せください。

イチゴには、ビタミンC、カルシウム、葉酸、カリウム、マグネシウム、食物纖維、鉄分など栄養素がたくさん含まれています。なつおとめの収穫時期は7月頃から10月頃まで。夏秋にもおいしいイチゴが食べられるなんて嬉しいですね。いよいよ夏本番。なつおとめを食べて、暑い夏を乗り切りましょう。飯

高校生のための食育授業の取材。24時間いつでも簡単に食べたいものが手に入る時代。主食・主菜・副菜をバランス良く食べる：わかってはいても、時間がない、面倒でついつい：同じ世代の子を持つ親としても耳が痛く、自分や家族の食生活を振り返り反省しました。そして、自分が子どもの頃、理想的な食事が食卓に並んでいたことを思い出し、親の有り難みと食育の大切さを改めて感じました。(※)

ようやく本格的な夏到来。先日取材に行つた黒田原の夏まつりも篠突く雨あがりの夏空の下、盛会に開催された。実行委員や町内外の出店者、子ども連れの家族、高校生やお年寄り。そこには地域の人々の笑顔をつなぐコミュニケーションティがあつた。暑い中、準備や交通整理を行う裏方たち。それぞれが役割を果たすことでも地域行事が実現している。これらは地域づくりにつながる重要な過程であると感じた。

(高)